



モモシクイガに対する新規殺虫剤の効果

【1 成果の要約】

チョウ目害虫に効果が高く、天敵等の有用生物に影響の少ない新規系統の殺虫剤であるフェニックス顆粒水和剤およびサムコルフロアブル 10 の、モモシクイガに対する効果を既存の殺虫剤と比較しました。

【2 成果の内容】

今回確認した各種殺虫剤のモモシクイガに対する食入防止期間および平成 23 年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針での記載内容は、下表の通りです。

供試薬剤	商品名	倍率	食入防止期間	防除指針での記載*
フェンバレート・MEP水和剤	パーマチオン水和剤	1000	33日以上	
ケルビリホス水和剤	ダズバンDF	3000	10日	
アセタミプリド水溶剤	モスピラン水溶剤	4000	10日	
フルベンジアミド水和剤	フェニックス顆粒水和剤	4000	17日	(H23新規)
クワントラニプロール水和剤	サムコルフロアブル10	2500	17日	未掲載
		5000	12日	

* :優れる :有効

【3 留意事項】

- (1) 本研究は岩手県農業研究センター内の、モモシクイガ多発園地にて実施しました。
- (2) 今回の結果に基づき、フェニックス顆粒水和剤を平成 23 年度病害虫防除指針「りんご（本欄、農薬使用基準及び効果適用表）」項に採用しました。なお、本欄における使用時期は 7 月中旬および 8 月中旬です。サムコルフロアブル 10 につきましては、次年度以降も試験を継続する予定です。

【4 活用方法等】

農業改良普及センターや JA 等において、りんご病害虫の防除計画を作成指導する際、本研究で明らかになった新規殺虫剤のモモシクイガに対する食入防止期間を参考にすることにより、より計画的な防除を実施することが可能になります。